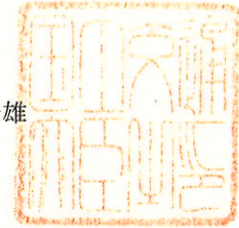


認定書

国住指第1972号
平成 16年 12月 14日

株式会社佐藤型鋼製作所
代表取締役 佐藤 公章 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第30条及び同法施行令第22条の3(界壁の遮音構造)の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

SOI-0063

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

グラスウール挿入／両面両面ボード用原紙張繊維混入硬質石膏板(9.5mm)・強化せっこうボード(21mm)張／軽量鉄骨下地(独立)間仕切壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

グラスウール挿入／両面両面ボード用原紙張繊維混入硬質石膏板 (9.5mm) ・強化せっこうボード (21mm) 張／軽量鉄骨下地 (独立) 間仕切壁

2. 寸法及び面密度等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
壁厚さ	201~311 (空気層厚さ 140~250)
面密度 (一般断面)	48.7 kg/m ² 以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造									
上張り面材	両面ボード用原紙張繊維混入硬質石膏板 ・面密度 11.0 kg/m ² ~12.0 kg/m ² ・厚さ 9.5±0.5 ・寸法 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>幅</th><th>長さ</th></tr></thead><tbody><tr><td>最小</td><td>910_{-3,+0}</td><td>1820_{-0,+3}</td></tr><tr><td>最大</td><td>910_{-3,+0}</td><td>3030_{-0,+3}</td></tr></tbody></table> ・端部形状 ベベル又はスクエア		幅	長さ	最小	910 _{-3,+0}	1820 _{-0,+3}	最大	910 _{-3,+0}	3030 _{-0,+3}
	幅	長さ								
最小	910 _{-3,+0}	1820 _{-0,+3}								
最大	910 _{-3,+0}	3030 _{-0,+3}								
下張り面材	強化せっこうボード ・規格 JIS A 6901 (GB-F) ・面密度 12.6 kg/m ² ~18.9 kg/m ² ・厚さ 21.0±0.5 ・寸法 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>幅</th><th>長さ</th></tr></thead><tbody><tr><td>最小</td><td>606_{-3,+0}</td><td>1820_{-0,+3}</td></tr><tr><td>最大</td><td>910_{-3,+0}</td><td>3640_{-0,+3}</td></tr></tbody></table> ・端部形状 ベベル又はスクエア		幅	長さ	最小	606 _{-3,+0}	1820 _{-0,+3}	最大	910 _{-3,+0}	3640 _{-0,+3}
	幅	長さ								
最小	606 _{-3,+0}	1820 _{-0,+3}								
最大	910 _{-3,+0}	3640 _{-0,+3}								
吸音材	グラスウール ・規格 JIS A 6301 又は JIS A 9504 ・厚さ 50 以上 ・密度 24kg/m ³ 以上									
ランナー	・規格 JIS A 6517 ・断面形状 [-47×40 ~ [-102×40 ・厚さ 0.5~1.6									

(別添-1)

スタッド	<p>コーナーかしめ振れ止め穴あき角型スタッド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・断面形状 □-45×45 ~ □-100×45 ・厚さ 0.45~1.6 ・間隔 455±20 ・配置形式 対面配置又は千鳥配置
振れ止め	<ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6517 ・断面形状 [-19×10 ~ [-38×12 ・厚さ 1.0~1.6 ・間隔 1500 以下

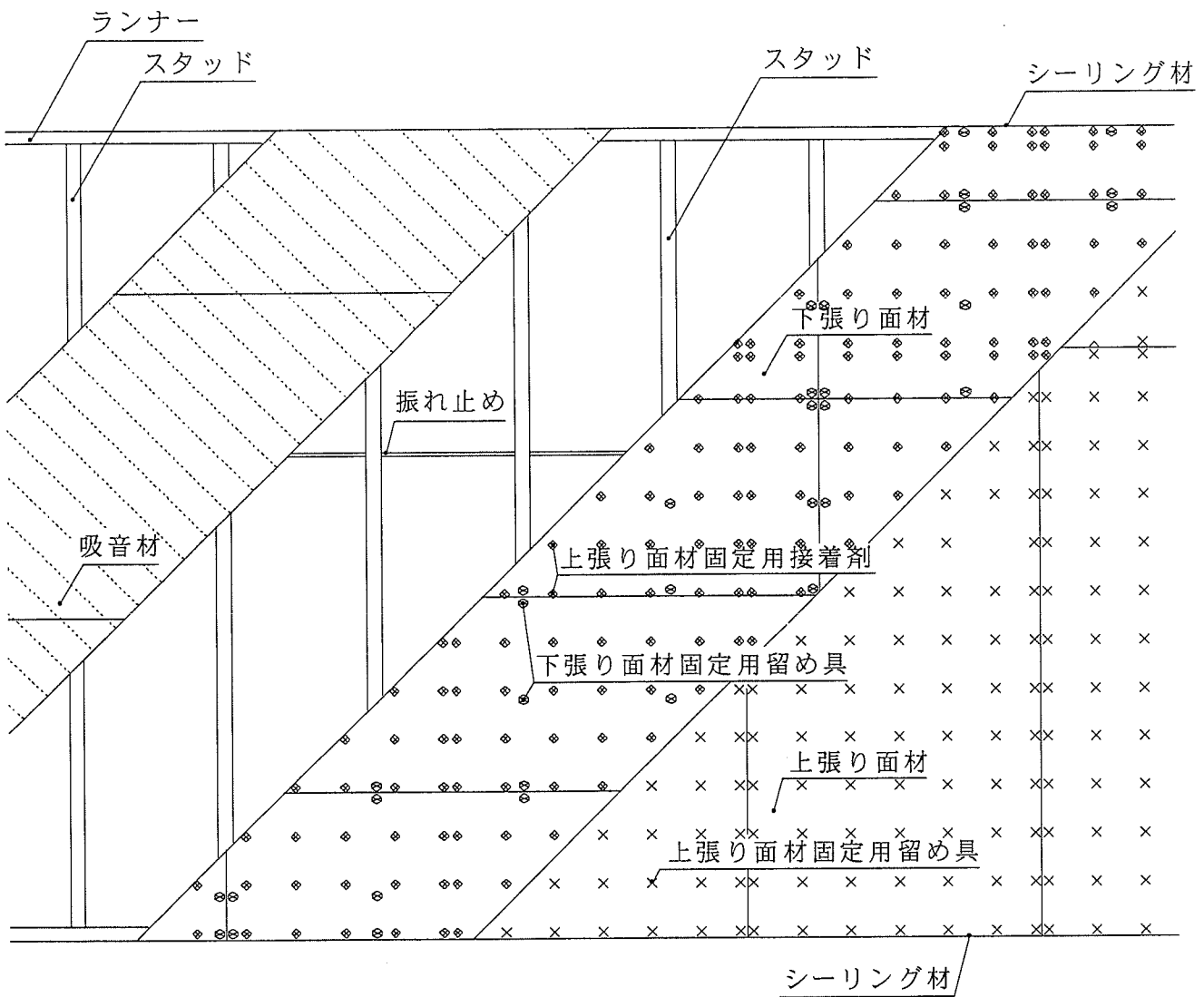
2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
上張り面材固定用留め具	ステープル ・大きさ 幅4×長さ19以上 ・間隔 150以上
上張り面材固定用接着剤	次のいずれかによる 1) 無機質系接着剤 ・塗布量 150 g/m ² 以上 ・間隔 150 2) 酢酸ビニル系接着剤 ・塗布量 150 g/m ² 以上 ・間隔 150
下張り面材固定用留め具	タッピンねじ ・規格 JIS B 1125 ・大きさ φ3.5×長さ32以上 ・間隔 300以上(面材周辺部及び面材中間部とも)
ランナー固定用留め具	次のいずれかによる 1) タッピンねじ ・規格 JIS B 1125 ・大きさ φ4×長さ19以上 ・間隔 1000以下 2) 打込みピン ・大きさ φ2.6×長さ19以上 ・間隔 1000以下 3) 芯棒打込式アンカー ・大きさ φ4×長さ20以上 ・間隔 1000以下 4) プラスチックアンカー ・大きさ φ4×長さ20以上 ・間隔 1000以下
シーリング材	次のいずれかによる 1) アクリル系樹脂 ・規格 JIS A 5758 ・使用量 25 g/m以上 2) ポリウレタン系樹脂 ・規格 JIS A 5758 ・使用量 25 g/m以上 3) 変成シリコン系樹脂 ・規格 JIS A 5758 ・使用量 25 g/m以上

4. 構造説明図

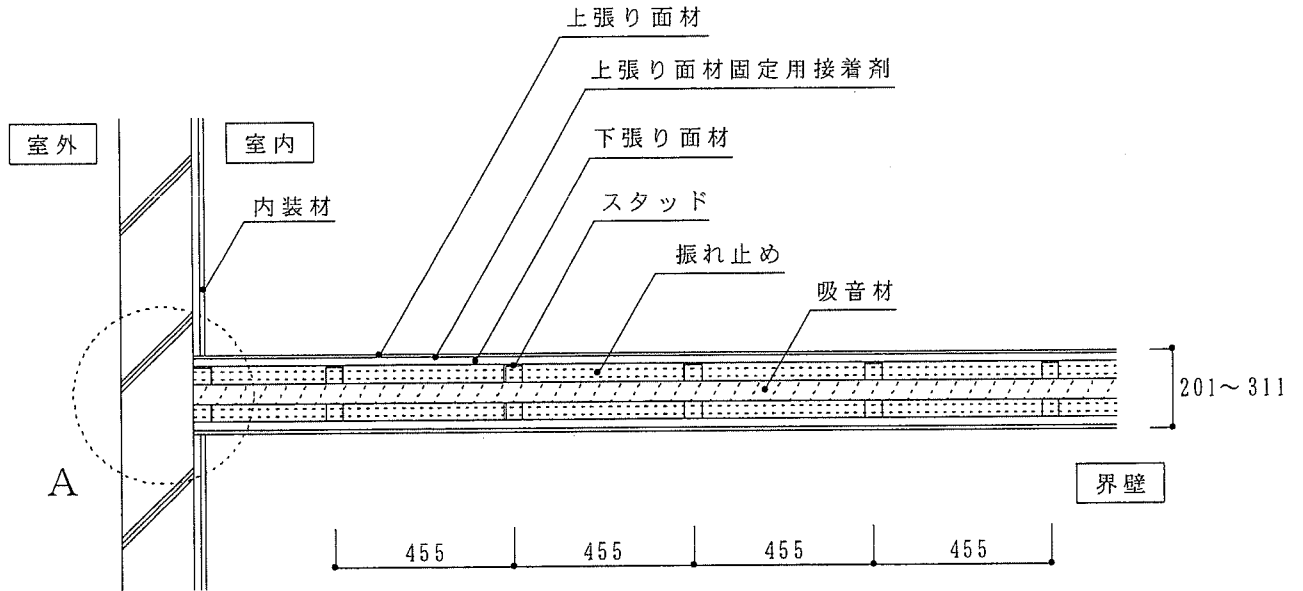
①全体構成図



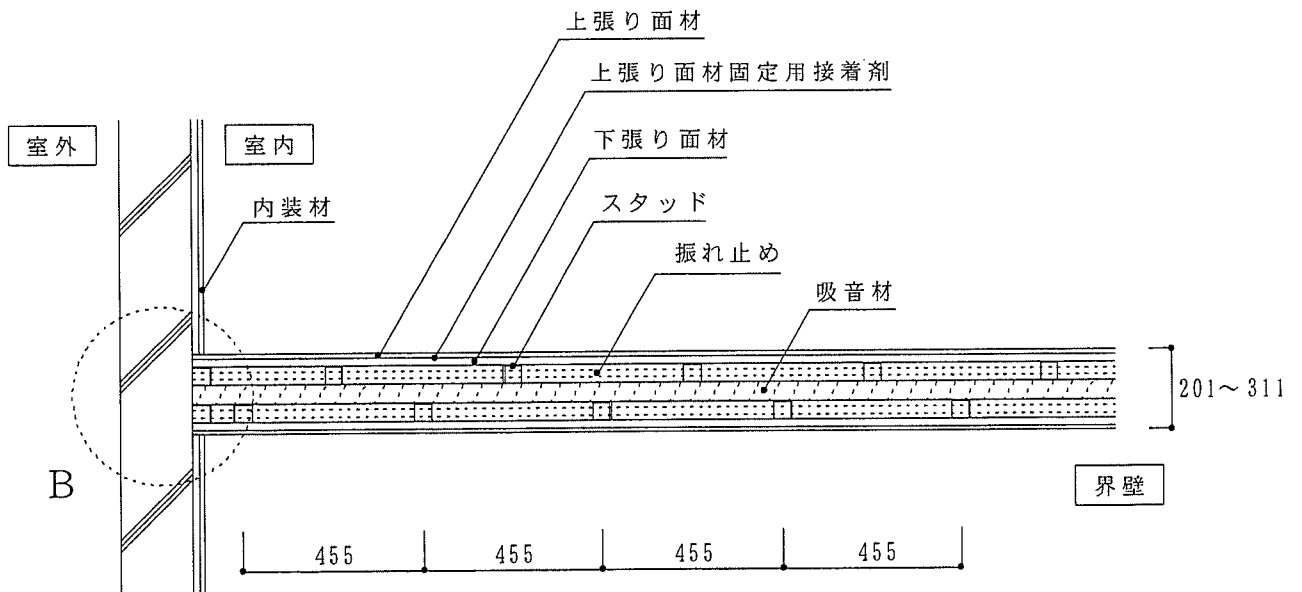
②水平断面図

平面図 1 - 1

(外壁 R C 壁仕様) *スタッド対面配置

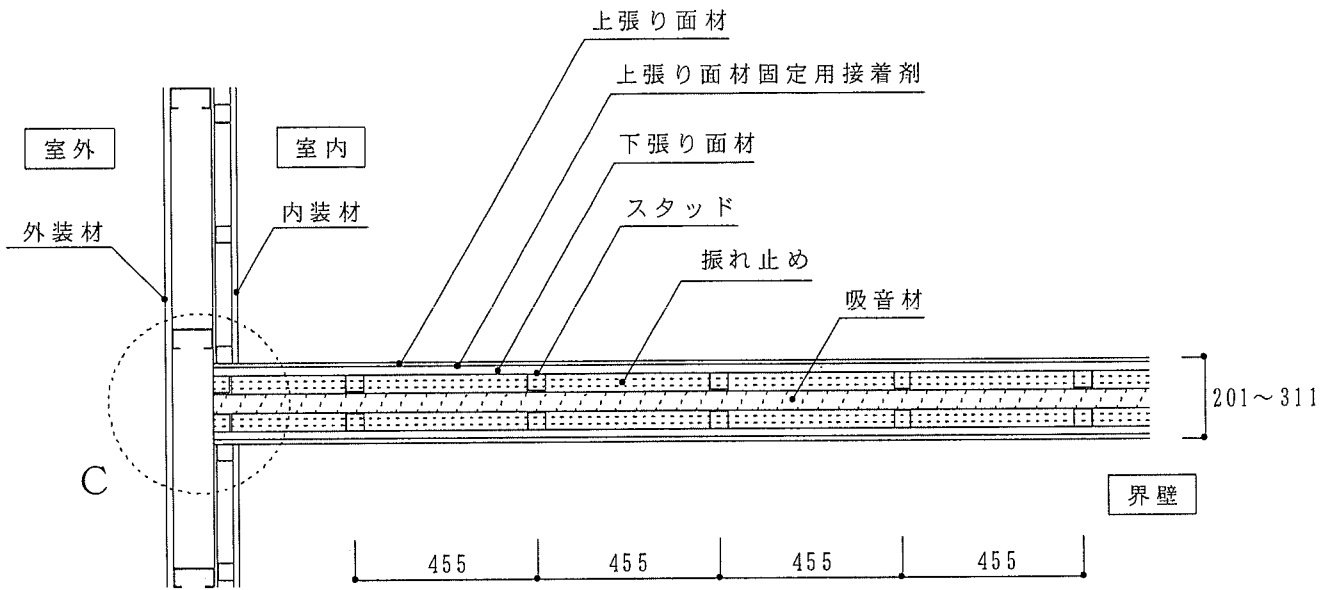


(外壁 R C 壁仕様) *スタッド千鳥配置

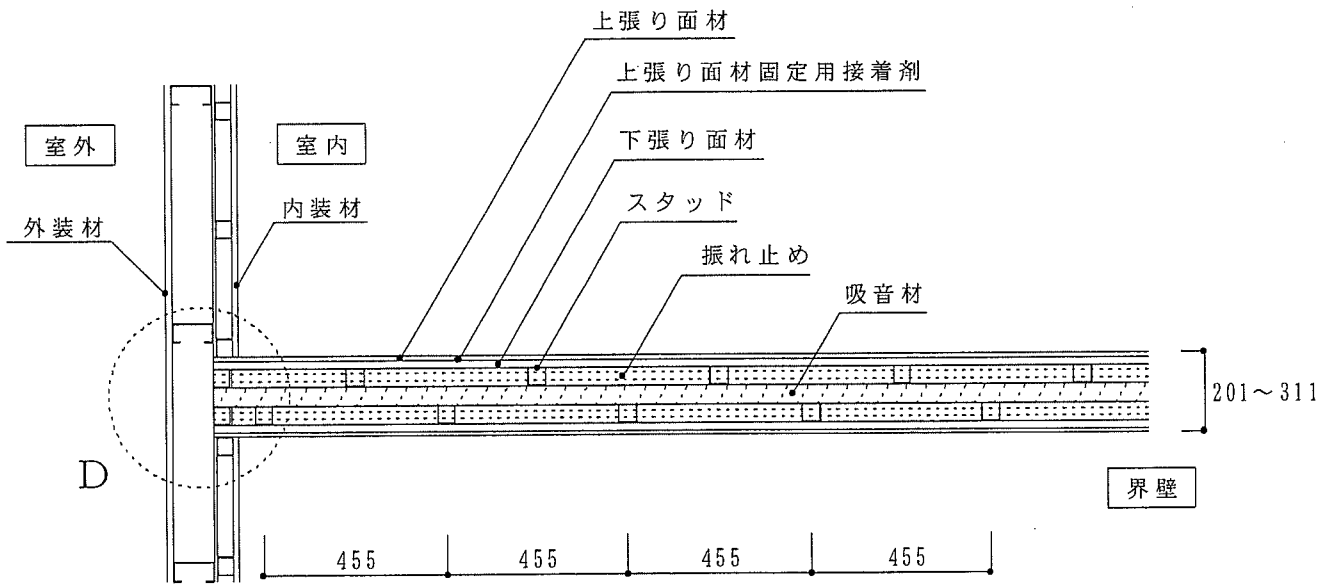


平面図 1 - 2

(外壁鉄骨胴縁壁仕様) *スタッド対面配置

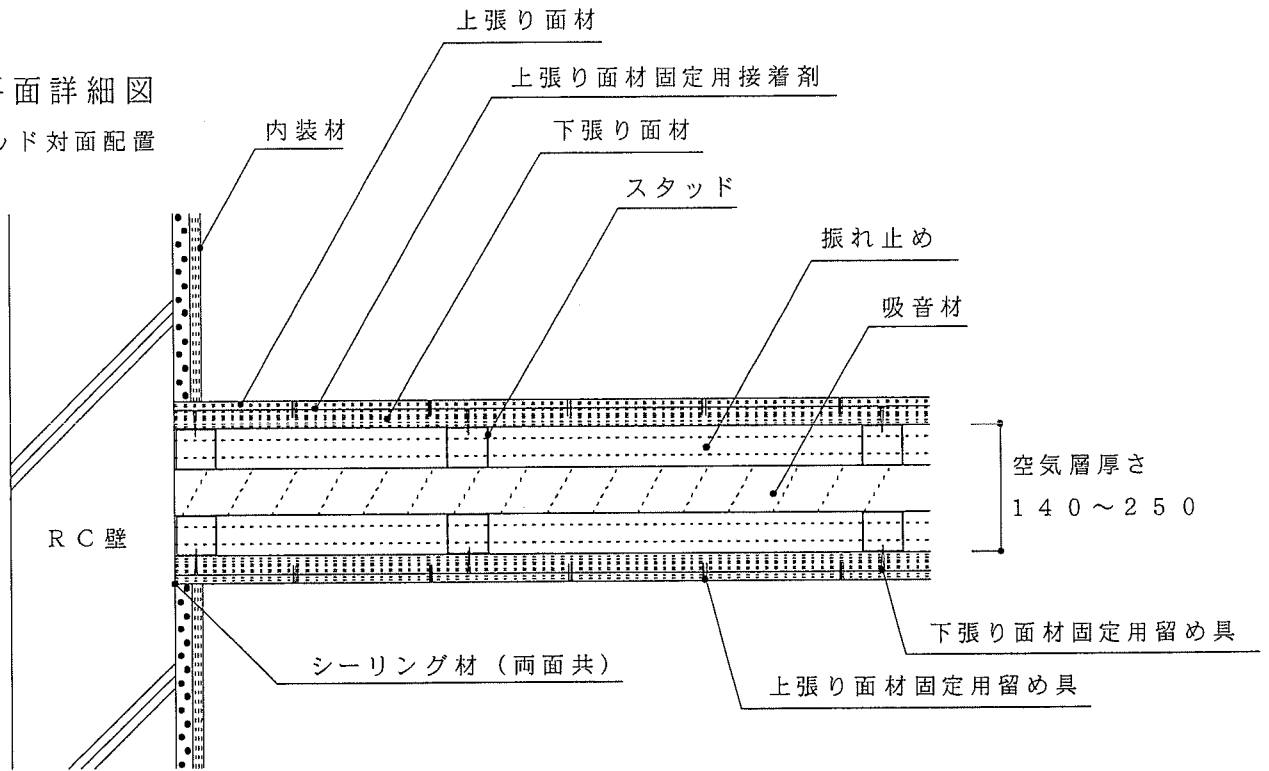


(外壁鉄骨胴縁壁仕様) *スタッド千鳥配置



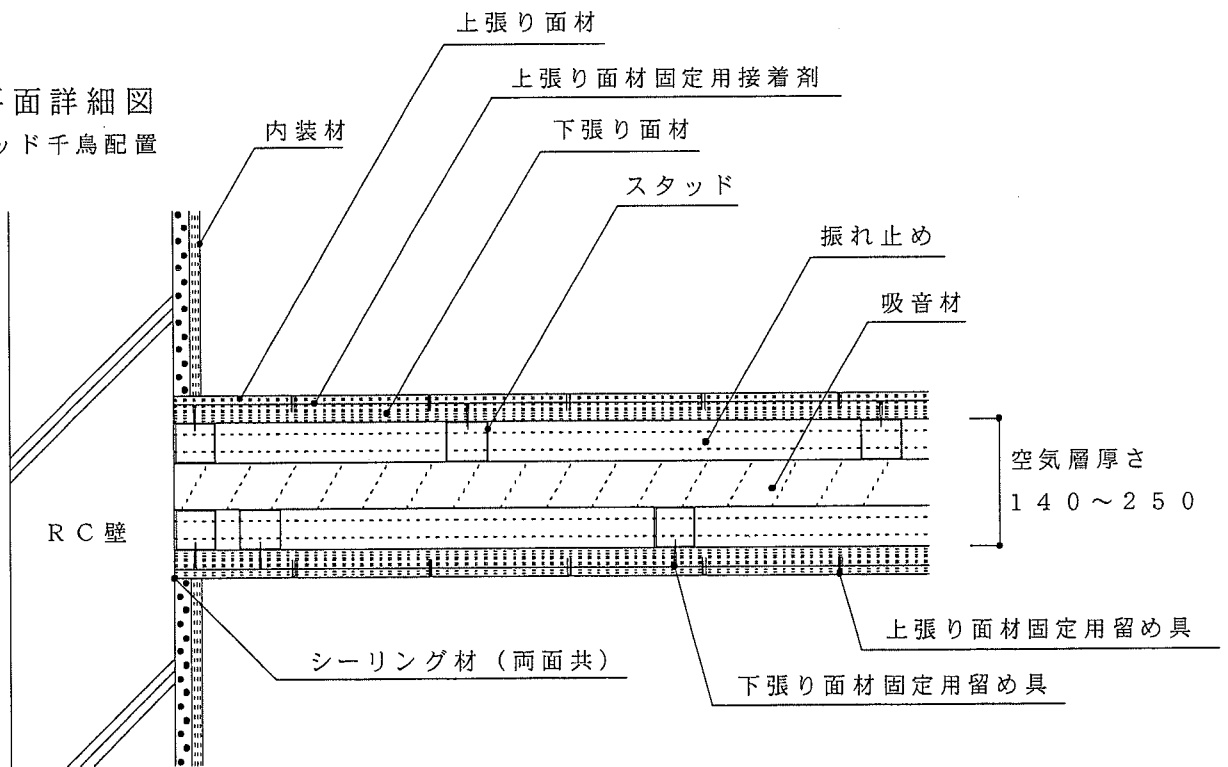
A 部平面詳細図

* スタッド対面配置



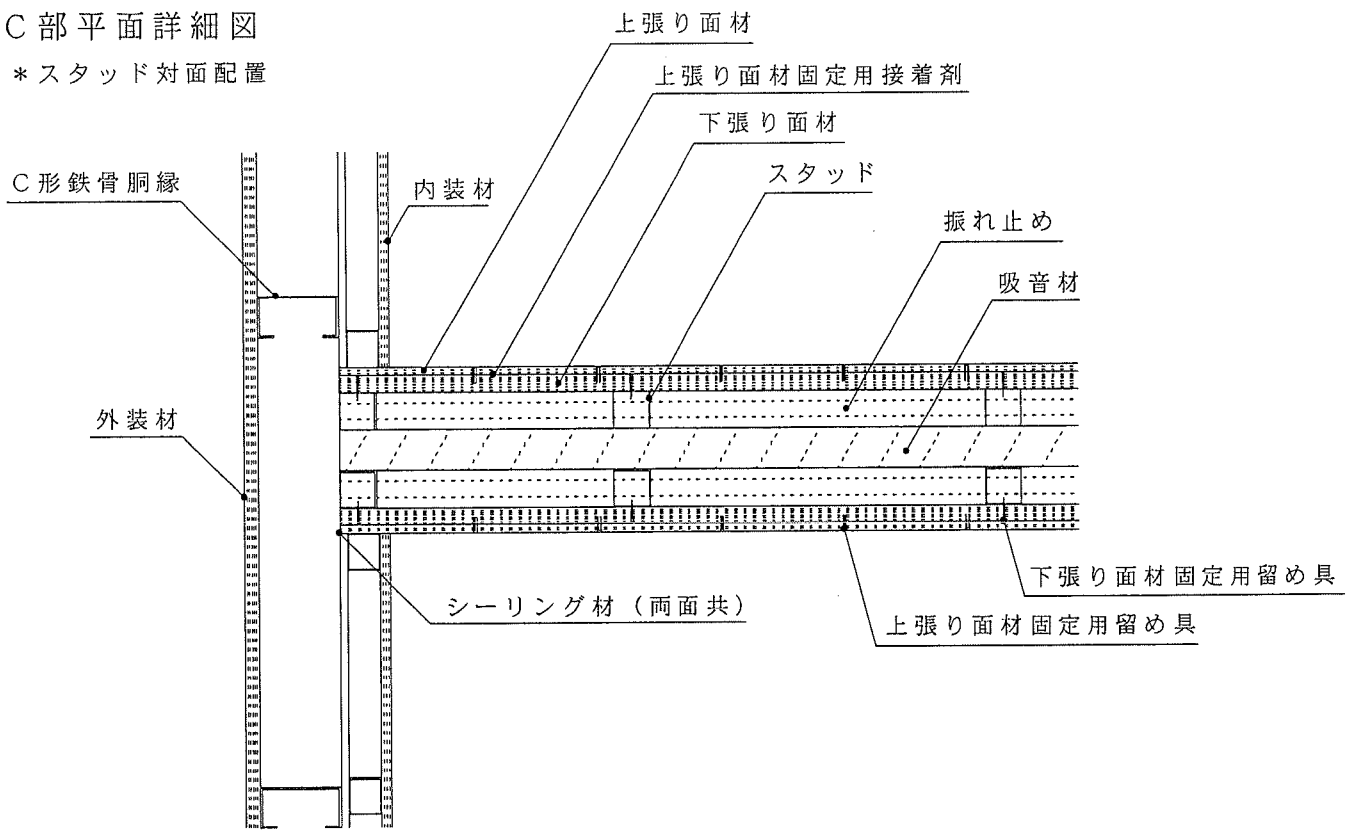
B 部平面詳細図

* スタッド千鳥配置



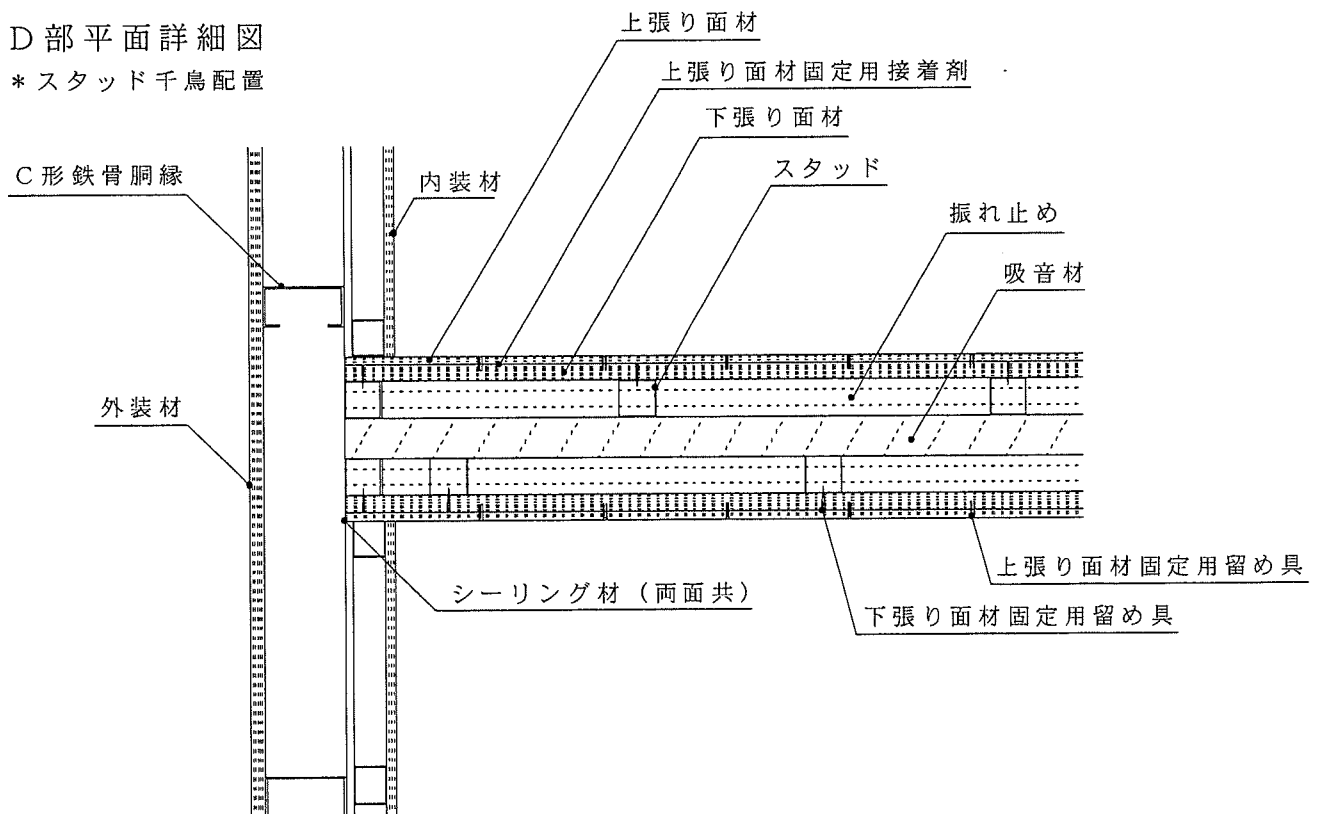
C部平面詳細図

*スタッド対面配置

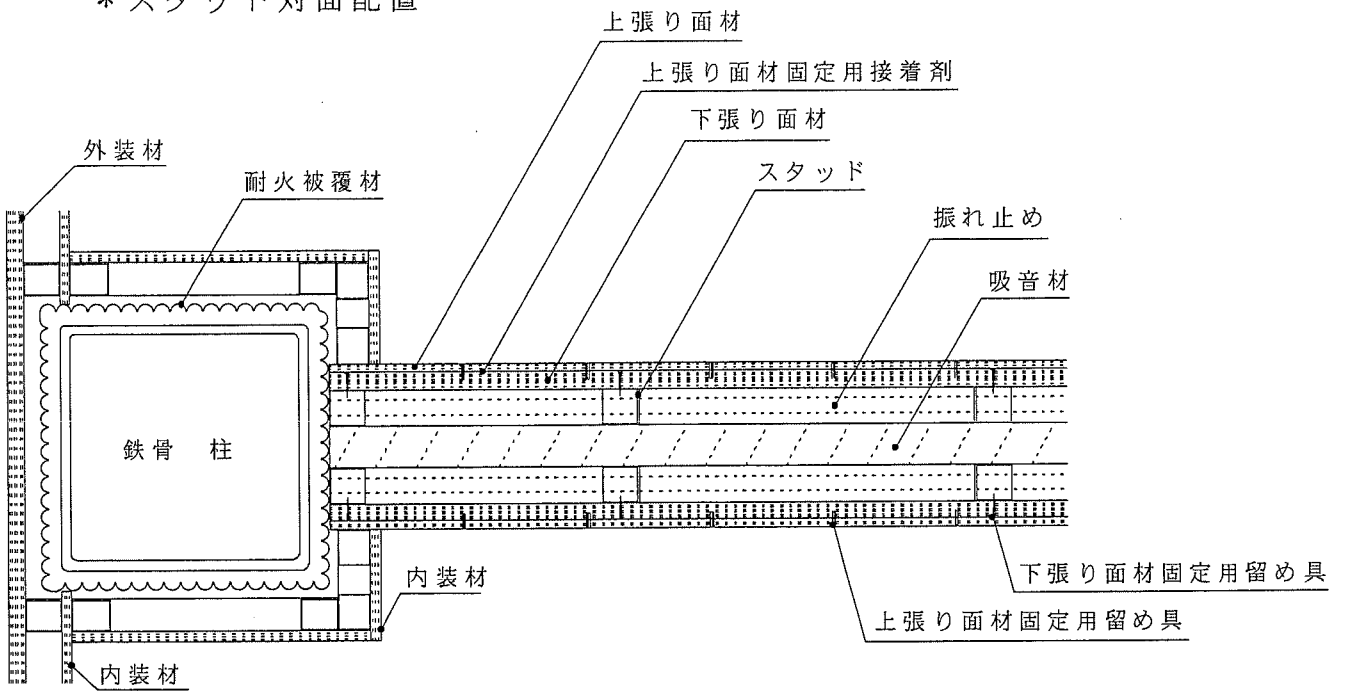


D部平面詳細図

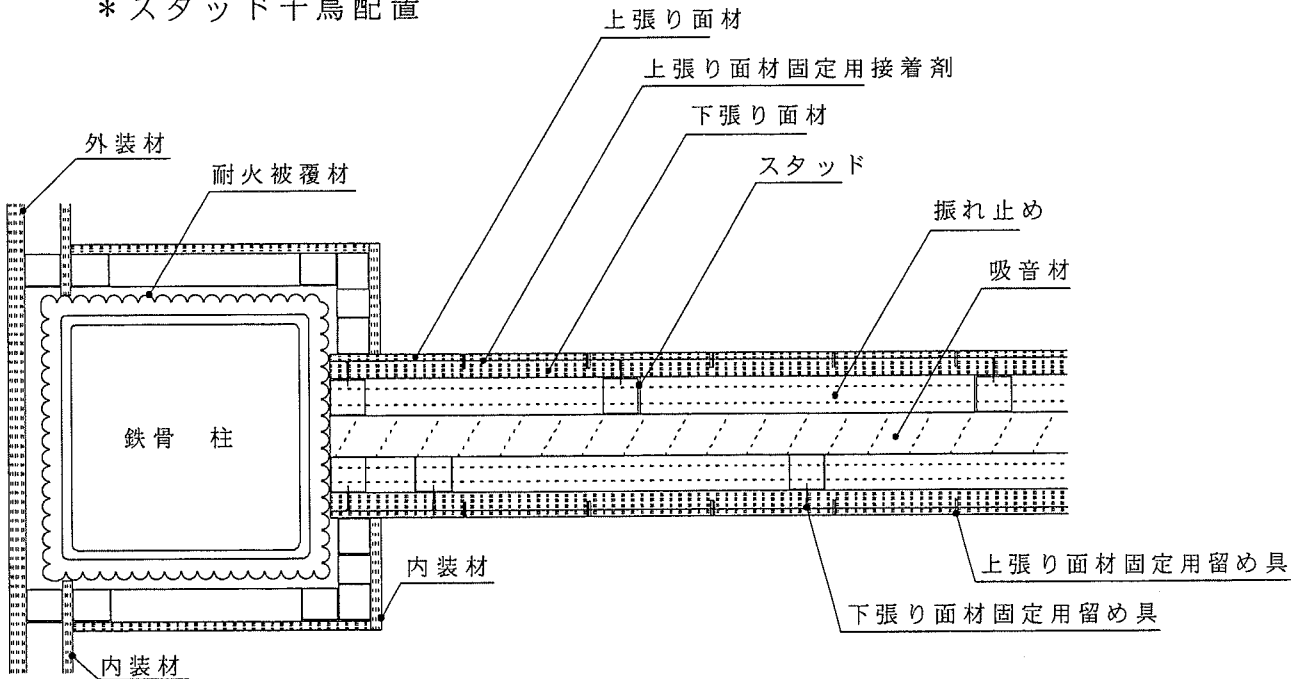
*スタッド千鳥配置



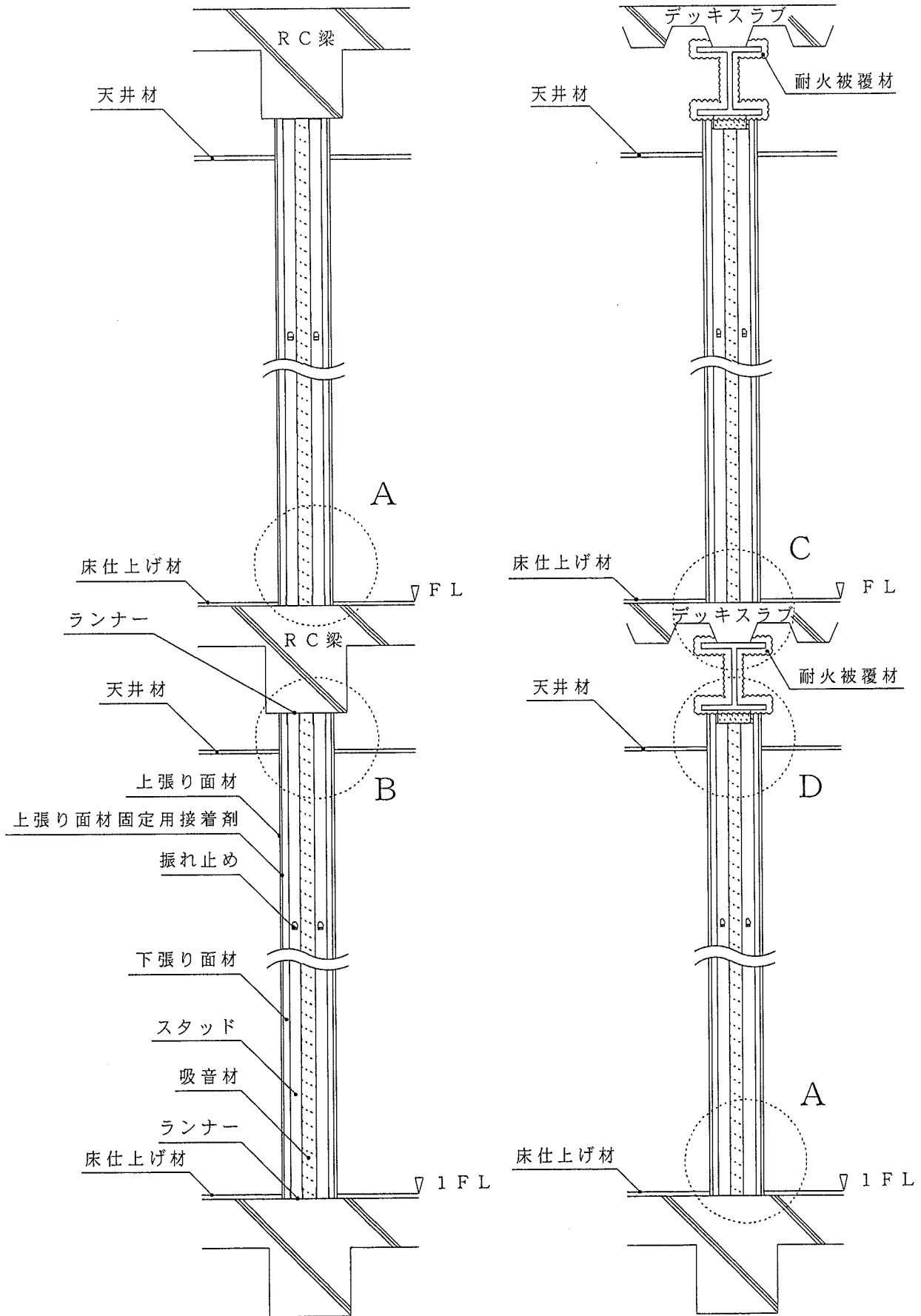
* スタッド対面配置

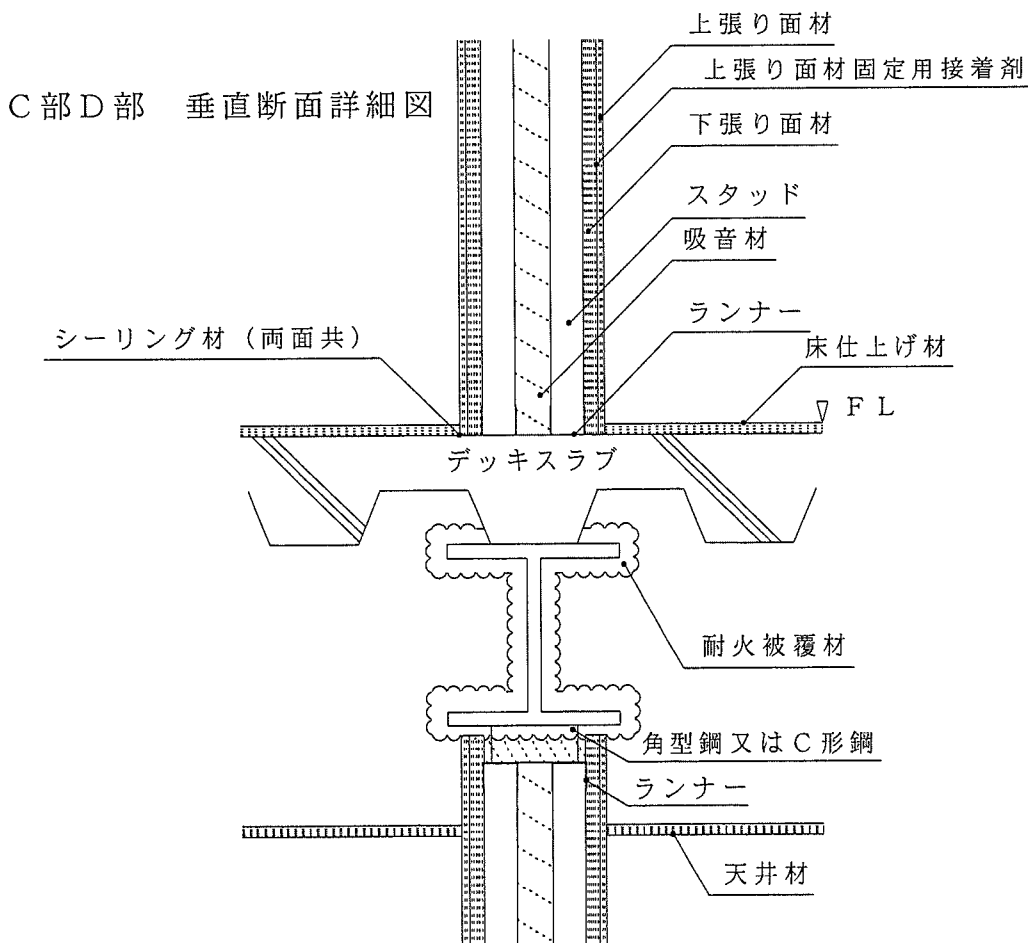
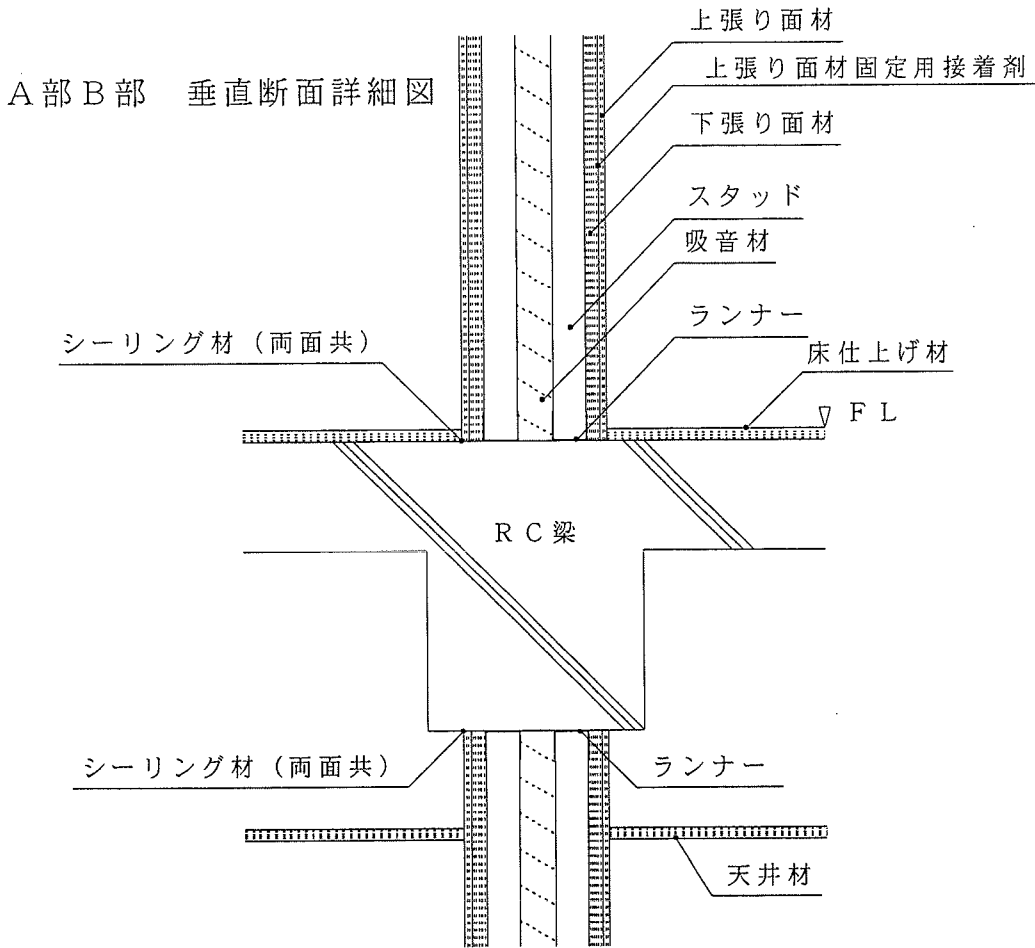


* スタッド千鳥配置

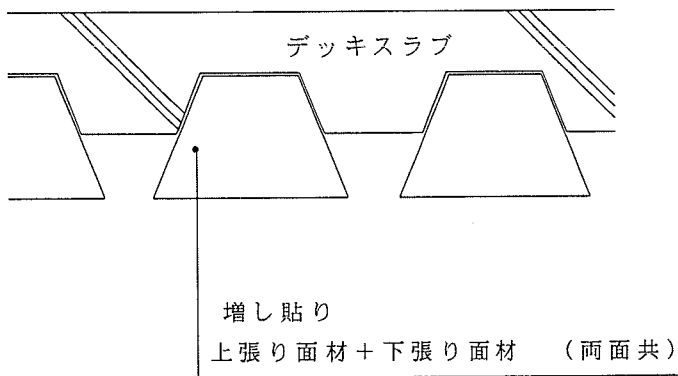


③垂直断面図

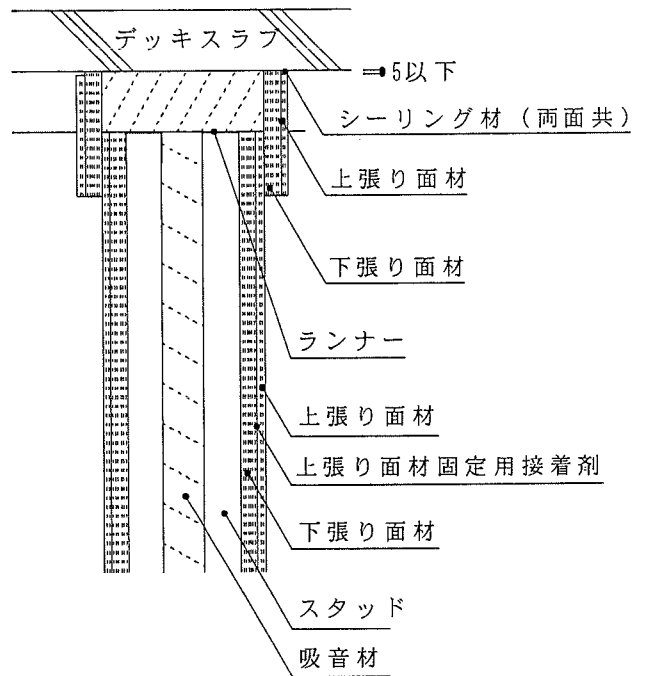




デッキプレート部詳細図（正面）



デッキプレート部詳細図（断面）



5. 施工方法等

5.1 鋼製壁下地工程

1) 墨出し

a. 基準墨や地隅などにより、ランナーの芯墨、逃げ墨を出す。

2) 上下ランナーの取付け

a. 上下ランナーは、ランナー端部を押さえながら、ランナー固定用留め具により 1000mm 以下の間隔で、構造躯体に固定する。ただし、構造躯体が鉄骨部材、鋼製下地などの場合は、タッピンねじ又は溶接で固定する。

3) スタッドの建て込み

a. スタッドを壁の高さに合わせて切断する。

スタッドの長さは、上下ランナー内寸法間より 10mm 以下の範囲で短いものとする。

b. スタッドを上下ランナーに差し込み、455mm 間隔に取付ける。

4) 振れ止めの取付け

a. 振れ止めは、床面ランナー下端から 1500mm ごとに設ける。ただし、上部ランナーから 400 mm 以下に振れ止めが位置する場合は、その振れ止めは省略することができる。

5) 吸音材の挿入

a. 二重のスタッドの中間層に吸音材を挿入する。

5.2 面材の張り付け工程

a. 下張り面材の張り付けは横張りとし、下張り面材固定用留め具により、面材の周辺部及び中間部とも 300 mm 以上の間隔で、鋼製壁下地材に留め付ける。

b. 上張り面材は、下張り面材の目地と重ならないように目地をずらせて縦張りとする。

c. 上張り面材は、下張り面材に上張り面材固定用接着剤を格子状に 150mm の間隔で点付けした後、上張り面材固定用留め具により 150mm 以上の間隔で下張り面材に固定する。

2) シーリング材の充てん

a. 上張り面材を張り付けた後、上張り面材と構造躯体との四周の取り合い部の隙間にシーリング材を充てんする。